

開かれた。県内の特別支援学校5校の高等部生徒32人が参加。清掃と喫茶サービスの2部門で、日ごろの練習の成果を披露した。

特別支援学校生徒の職業能力の育成を図ろうと県教委が毎年開いている。参加者は県教委が独自に定めている検定の4級以上を持っている。昇級を目指し挑んだ。県ビルメンテナンス協会と県喫茶業協同組合の関係者が検定員を務めた。

清掃ではテーブル拭きやほうきなどでの掃除、喫茶サービスでは接客の技術をそれぞれ披露した。

喫茶サービスでは客役の教員に対し、生徒が注文を取ったり飲み物を出したりした。言葉遣い、物腰ともに丁寧になしていた。南越特別支援学校の大川琴奈さん(3年)は「緊張したけど、接客への自信がいった」と話していた。

(佐々木哲也)

検定認定者は次の皆さん。

- 大川琴奈、山岡誠尚、紀谷元希
- 佐々木星姫、加藤杏菜、岩井菜桜
- 佐藤健二(南越)、鰐淵巨、大塚真希、堀田結翔(嶺北)、上野悠記、辻翼(嶺南東)、元屋敷侏雅、高原真衣、山川飛路斗、唯太晴、林咲羽(福井南)、古谷友亜貴、濱田脩希、前田彩乃、北村春樹、東山哲士、尾張智弥、森脇寛太(嶺南西)



喫茶サービスの検定に挑む生徒16日、越前市の南越特別支援学校

### 清掃や喫茶サービス 生徒が練習成果披露

特支援技能検定認定大会

第8回県特別支援学校技能検定認定大会が16日、越前市の南越特別支援学校で